

令和6年度 中学部1～3年（Ⅱ課程 A①）数学科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	1～3年20名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。(中2段階) (思判表力)日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。(中1段階) (学・人)数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。(中1段階)
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	(知及技)十進位取り記数法を使って、3～4位数までの数を表すことができる。【中1段階Aア④⑤中2段階Aア⑦】 (思判表力)数のまとまりに着目し、考察する範囲を広げながら数の大きさの比べ方や数え方を考えることができる。【中1段階Aア⑦】 (学・人)数のまとまりと数え方、表し方の関係に着目することの有用さを感じ、日常生活の金銭の取扱いに興味関心を持って取り組むことができる。【中1段階】	(知・技)十が10個集まると百になること百が10個集まると千になることを理解し、「一・十・百・千」の位取りに注意しながら表している。 (思・判・表)2位数の考え方を基にして、3位数へと考察する範囲を広げて数の大きさの比べ方や数え方を考えている。また数の大小を比べたり並べたりしている。 (主学)10や100のまとまりに着目して数を数えることの良さに気付くことができ、日常生活の金銭の取扱いに興味関心を持って取り組んでいる。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「数と計算」 ・数のまとまり ・十進位取り記数法 ・金銭処理	・3位数を100のまとまり、10のまとまりの個数と端数として表す。 ・4位数を1000のまとまり、100のまとまり、10のまとまりの個数と端数として表す。 ・一円玉100個と百円玉1個で、どちらが数えやすいかを比べてみる。 ・お金（紙幣・硬貨）などの具体物を利用して、数の数え方や表し方を考える。 ・大きい位から小さい位に向けて数の大小を比べる。 ・商品の値段を比べて、どちらが安いか考える。
	16	(知及技)2～3位数の加法及び減法について理解し、その計算ができる。【中1段階Aイ④⑤】 (思判表力)数量の関係に着目し、数を適用する範囲を広げ、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすことができる。【中1段階Aイ⑤】 (学・人)日常生活における2位数や簡単な3位数の計算の必要性に気付くことが出来る。【中1段階】	(知・技)百のまとまりを捉えることで簡単な3位数の加法及び減法についての計算をしている。また、筆算の有用性を理解し、計算している。計算機を使って確かめをすることができる。 (思・判・表)2位数を十のまとまりと端数にわけて考えることで、計算の仕方を導き出そうとしている。また、2位数の加減法の筆算から3位数の計算方法を類推することができる。 (主学)具体的な例について考える中で2位数や簡単な3位数の計算の必要性を見いだせる。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「数と計算」 ・2位数の加法・減法 ・3位数の加法・減法 ・筆算	・1位数の加法について、繰り上がりの計算を復習する。 ・2位数の加法について、繰り上がりの計算を考える。 ・2位数の減法について、繰り下がりの計算を考える。 ・2位数の加減法の筆算から3位数の計算方法を類推する。 ・3位数の筆算。 ・カレンダーや時間の計算等、教室の中で、加法・減法で表されるものを見つける。 ・品物を複数購入した時の代金を求める。
		(知及技)1/10の位までの数の小数の表し方や、1/2、1/4など簡単な分数について知ることができる。【中2段階Aオ④、カ④】 (思判表力)数のまとまりに着目し、考察する範囲を広げながら数の大きさの比べ方や数え方を考えることができる。【中2段階Aオ④、カ④】 (学・人)分数や小数について理解し、身のまわりで分数や小数が使われているものを見つけることができる。【中1段階】	(知・技)1/10の位までの数の小数の表し方や、1/2、1/4など簡単な分数について知ろうとしている。 (思・判・表)数のまとまりに着目し、考察する範囲を広げながら、分数では分母の大きさに反比例して数の大きさが変わる等数の比べ方や数え方を考えようとしている。 (主学)分数や小数について理解し、身のまわりで分数や小数が使われているものを見つけようとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「数と計算」 ・小数 ・分数	・分数、小数の表し方を知る。 ・元の大きさと分けた大きさの関係や、分けた大きさは全て等しいことに着目し、分数について考える。 ・整数で表せない端数部分の大きさの表し方を考えて説明し、分数や小数で表されるものを見つける。

6	<p>(知及技)時間の単位について知り、日常生活に必要な時刻や時間を求めることができる。【中1段階Cイ⑦、⑧】 (思判表力)時間の単位に着目し、簡単な時刻や時間の求め方を日常生活に生かすことができる。【中1段階Cイ⑦】 (学・人)時刻や時間に関心をもち、数学的に表現・処理したことを振り返ることができる。</p>	<p>(知・技)時間の単位について知り、日常生活に必要な時刻や時間を求めようとしている。 (思・判・表)時間の単位に着目し、簡単な時刻や時間の求め方を日常生活に生かそうとしている。 (主学)時刻や時間に関する言葉を使って、身の回りのことを表現しようとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子</p>	<p>「測定」 ・時間の単位 ・時刻</p>	<p>・長針と短針の示す時間を理解し、時計の表示から時刻を読み取りの復習。 ・時間の単位(時、分)についての復習。 ・1時間=60分、1分=60秒を確認し、時間の計算をする。 ・日課表やバスの時刻表を見て、開始時刻や終了時刻を判断したり、1日のタイムスケジュールを立てたりする。 ・睡眠時間や食事の時間、息を止められる時間等、適切な時間の単位を用いて表す。</p>
	<p>(知及技)基本的な図形が分かり、その図形を書いたり、簡単な図表を作ったりすることができる。【中1段階Bア⑦、⑧、⑨、⑩、⑪】 (思判表力)図形を構成する要素に着目し、構成の仕方を考えることができる。【中1段階Bア⑦】 (学・人)身の回りにあるものの形の中に三角形、四角形があることに気付くことができる。【中1段階】</p>	<p>(知・技)基本的な図形が分かり、紙を折って直角を作ったり、長方形や正方形などを作図することができる。 (思・判・表)辺や頂点など図形を構成する要素に着目し、三角形や四角形、長方形や正方形などの特徴を見出し、表に整理することができる。 (主学)身の回りにあるものの形をよく観察して、三角形や四角形を見つけようとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子</p>	<p>「図形」 ・直線 ・三角形 ・四角形 ・直角 ・直角三角形 ・正方形と長方形</p>	<p>・三角形や四角形が、それぞれ3本、4本の直線で囲まれている図形ということを知る。 ・いろいろな三角形、四角形を作図する。 ・身の回りのものの中から、三角形、四角形の形をしたものを見つける。 ・直角を紙を折って作る。 ・直角、頂点、辺、及び面の定義を知り、正方形、長方形及び直角三角形の構成について考える。 ・身の回りのものの中から正方形、長方形、直角三角形の形をしたものを見つける。</p>
15	<p>(知及技)二等辺三角形や正三角形をコンパスなどを用いて作図することができる。【中2段階Bア⑦】 (思判表力)図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方を考察して、図形の性質を見いだすことができる。【中2段階Bア⑦】 (学・人)二等辺三角形や正三角形の意味や性質、円の性質を振り返り、円を用いた作図に生かすことができる。【中1段階】</p>	<p>(知・技)二等辺三角形や正三角形をコンパスなどを用いて作図しようとしている。 (思・判・表)図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方を考察して、図形の性質を見いだしている。 (主学)二等辺三角形や正三角形の意味や性質、円の性質を振り返り、円を用いた作図に生かそうとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子</p>	<p>「図形」 ・二等辺三角形 ・正三角形</p>	<p>・コンパスを使用し、二等辺三角形の作図の仕方を理解し、作図する。(知及技に関する活動) ・コンパスのもつ性質に着目して、二等辺三角形の簡単な作図の仕方を考える。 ・二等辺三角形や正三角形の作図の仕方を、円の性質を用いて考え、説明する。</p>
	<p>(知及技)面積の求め方について知り、角の大きさを測定することができる。【中2段階Bイ⑦、ウ⑦】 (思判表力)面積の単位や角の大きさの単位に着目し、それぞれ求め方を考えることができる。【中2段階Bイ⑦、ウ⑦】 (学・人)面積の求め方や角の大きさの求め方を理解し、身の回りの図形の面積や角の大きさを求めることができる。</p>	<p>(知・技)面積の求め方について知り、角の大きさを測定しようとしている。 (思・判・表)面積の単位や角の大きさの単位に着目し、それぞれ求め方を考えようとしている。 (主学)面積の求め方や角の大きさの求め方を理解し、身の回りの図形の面積や角の大きさを求めようとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子</p>	<p>「図形」 ・面積 ・角度</p>	<p>・面積の単位「平方センチメートル(cm^2)」を知る。 ・角の意味や角の大きさの相等や大小を理解する。 ・面積の意味や 1cm^2 の大きさに着目し、面積の表し方を考える。 ・身の回りの図形の面積や角の大きさを求める。</p>
6	<p>(知及技)乗法について知り、乗法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ることができる。【中1段階Aウ⑦、⑧】 (思判表力)数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすことができる。【中1段階Aウ⑦】 (学・人)数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理や乗法によさに気づくことができる。【中1段階】</p>	<p>(知・技)絵や具体物で表されているものを見て乗法を用いて式に表したり、式を読み取って絵や具体物で表したりできる。 (思・判・表)累加としての乗法の意味を調べる活動に取り組みながら、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見出そうとしている。 (主学)乗法を用いると式が簡潔・明瞭に表されることを理解し、乗法九九の必要性を感じている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子</p>	<p>「数と計算」 ・1位数同士の乗法 ・九九 ・金銭処理</p>	<p>・「1つ分の数」「いくつ分」をとらえ、「1つ分の数」と「いくつ分」の関係の場合に乗法が用いられることを知る。 ・九九表を完成させ、十の段を作る。 ・例えば $9+9+9+9=9\times 4=36$ と表されることを確認する。 ・お金 ・計算機を利用して、値段×人数の代金を求める。</p>
	<p>(知及技)除法が用いられる場合や意味について理解し、除法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ることができる。【中2段階A工⑦、⑧】 (思判表力)除法に着目し、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすことができる。【中2段階A工⑦】 (学・人)文章から除法の式を立て、等分除や包含除の違いについて考えることができる。【中1段階】</p>	<p>(知・技)除法が用いられる場合や意味について理解し、除法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ろうとしている。 (思・判・表)除法に着目し、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだしている。 (主学)文章から除法の式を立て、等分除や包含除の違いについて考えようとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子</p>	<p>「数と計算」 ・1位数の除法(余り無し、余り有り) ・金銭処理</p>	<p>・除法に関する用語、記号を知り、計算をする。 ・図や式などから、除法は乗法を用いて解くことができると気づく。 ・等分除と包含除の問題を見比べて、違いを話し合う。 ・計算機を利用して、代金÷人数をして、1人当たりの金額を求める。</p>

5	<p>(知及技)簡単な場合について、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを知る事ができる。【中2段階Cイ㉔】</p> <p>(思判表力)日常生活における数量の關係に着目し、図や式を用いて、二つの数量の關係を考察することができる。(中2段階Cイ㉔)</p> <p>(学・人)問題場面や数量の關係、倍の意味について考えた過程を振り返り、数理的な処理のよさに気づくことができる。【中1段階】</p>	<p>(知・技)簡単な場合について、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを知っている。</p> <p>(思・判・表)日常生活における数量の關係に着目し、図や式を用いて、二つの数量の關係を考察している。</p> <p>(主学)問題場面や数量の關係、倍の意味について考えた過程を振り返ろうとしている。</p> <p>【評価資料】 授業プリント・活動の様子</p>	<p>「変化と関係」 ・二つの数量 ・割合</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・数量の關係やテープ図、式を用いて比較量を求める。 ・比較量を求める場合は乗法を用いればよいことを図や式を用いて考える。 ・身の回りで、比較できそうなものを探し、比較する。 ・数量の關係をテープ図や数直線、□を使った式などを用いて考え、基準量を求める。 ・基準量を求めるために、□を用いて乗法の式に表し、除法を用いて□を求めればよいことを、図や式を用いて説明する。 ・□を使った乗法の式を用いて基準量を求めたことを振り返る。
12	<p>(知及技)身の回りにある数量を簡単な表やグラフに表したり、読み取ったりすることができる。【中1段階Dア㉔】</p> <p>(思判表力)身の回りの事象に関するデータを整理する観点に着目し、簡単な表やグラフを用いながら読み取ったり、考察したりすることができる。【中1段階Dア㉔】</p> <p>(学・人)身の回りの事象に関心をもち、グラフや表を用いて、数学的に表現・処理することができる。【中1段階】</p>	<p>(知・技)具体物の数量を、簡単な表やグラフで表している。また、表やグラフから数値を読み取ることができる。</p> <p>(思・判・表)表のグラフの比較から、物の順位を判断したり、順番に並び替えたりと考察しようとしている。</p> <p>(主学)自分で調べたデータを整理し、グラフや表を用いて、表現・処理しようとしている。</p> <p>【評価資料】 授業プリント・活動の様子</p>	<p>「データの活用」 ・データの分類 ・グラフの作成と読み取り</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バラバラに散らばっているデータから表やグラフを作成する。(知及技に関する活動) ・好きな食べ物や好きな動物などのグラフから一番多いものや一番少ないものなどを読み取る。(思判表力に関する活動) ・一週間の授業の各教科のコマ数や一週間の体温の測定結果などをまとめて、表にしたりグラフに表したりする。(学・人に関する活動)
3 学期	<p>(知及技)表や棒グラフ、折れ線グラフの意味やその用い方を理解することができる。【中2段階Dア㉔】</p> <p>(思判表力)身の回りの事象に関するデータを整理し、表や棒グラフを読み取ることができる。【中2段階Dア㉔】</p> <p>(学・人)問題解決の過程やデータを分類整理した結果、棒グラフや折れ線グラフを活用した過程を振り返ることができる。【中1段階】</p>	<p>(知・技)表や棒グラフ、折れ線グラフの意味やその用い方を理解しようとしている。</p> <p>(思・判・表)身の回りの事象に関するデータを整理し、表や棒グラフを読み取ろうとしている。</p> <p>(主学)問題解決の過程やデータを分類整理した結果、棒グラフや折れ線グラフを活用した過程を振り返ろうとしている。</p> <p>【評価資料】 授業プリント・活動の様子</p>	<p>「データの活用」 ・表 ・棒グラフ ・折れ線グラフ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・データを棒グラフに表すと、数量の大小や差が分かりやすいことや、棒グラフの読み取り方を理解する。(知及技に関する活動) ・折れ線グラフの特徴や読み取り方を理解し、情報を適切に読み取る。(知及技に関する活動) ・棒グラフの読み取り方、折れ線の傾きに着目し、数値の変わり方について考える。(思判表力に関する活動) ・目的に応じてデータの整理の仕方を考えた過程を振り返る。(学・人に関する活動)
6	<p>(知及技)目盛の原点を対象の端に当てて測定したり、長さの単位 [mm, cm, m, km] で表すことができる。【中1段階Cア㉔、㉕】</p> <p>(思判表力)身の回りのものの特徴に着目し、目的に適した単位で量の大きさを表現したり、比べたりすることができる。【中1段階Cア㉔】</p> <p>(学・人)身の回りにあるものの長さに関心をもちることができる。【中1段階】</p>	<p>(知・技)目盛の原点を対象の端に当てて測定し、長さの単位 [mm, cm, m, km] で表そうとしている。</p> <p>(思・判・表)適切な長さの器具を用いて計量しようとしている。その結果をもとに、比較しようとしている。</p> <p>(主学)身の回りにあるものの長さに関心をもち、学習したことを使って表現しようとしている。</p> <p>【評価資料】 授業プリント・活動の様子</p>	<p>「測定」 ・ものさしの使い方 ・長さの単位 [mm, cm, m, km]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ものさしの使い方を確認し、直線を引く。(知及技に関する活動) ・1 cm = 10 mm, 1 m = 100 cmであることを知る。(知及技に関する活動) ・教室や学校内にあるものの長さの単位を予想し、実際に計量する。(思判表力に関する活動) ・10 cmの長さを紙テープなどで作成し、身の回りのものと比べ、量感を身に付ける。(学・人に関する活動)
留意点 引継ぎ等	<p>生徒の実態や学習到達度、学習状況に応じて段階を調整する。また、単元等の順番を入れ替えて学習する場合もある。</p>			

令和6年度 高等部 1～3年（Ⅱ課程A②） 数学科年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	1～3学年Ⅱ課程A②類型（11人）		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。(中1段階) (思判表力)日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。(中1段階) (学・人)数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。(中1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	5	(知及技)100までの数について、数詞を唱えたり、個数を数えたり、書き表したり、数の大きさを比べたりすることができる【小3段階A⑦⑧⑨⑩⑪】 (思判表力)数のまとまりに着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考えることができる。【小3段階A⑦】 (学・人)数を用いて量を表すことの良さに気づくことができる。【中1段階】	(知・技)100までの数について、具体物を用いて個数を数えたり、数の大きさを比べたり、数詞を唱えたりようとしている。 (思・判・表)10までの数の数え方や大小比較等を元になら100までの数の数え方や表し方について考えようとしている。 (主学)10以上の数を表現できることの良さに気づき、身近にある具体物等を数えることに活用しようとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「数と計算」 ・10までの数 ・20までの数 ・一の位、十の位について知ろう ・色々なものを数えよう ・100までの数 ・お金	・タイル、数字、具体物を結びつけて数について学ぶ ・数唱しながら物を取ったり配ったりする。また、物に対応させて配る。色や形、位置が変わっても、数は変わらないことに気づく。 ・数の系列が分かり、順序や位置を表すのに数を用いる。 ・2ずつ5ずつまとめて数える。 ・1つの数を2つの数に分けたり、2つの数を1つにまとめたりして表す。 ・一の位と十の位があることを知る。 ・10までの数の数え方を元にして、11から20までの数の数カードを順番良く並べる。 ・10個以上あるおはじきやブロック等をちょうど10個入る卵パックや製氷皿を利用して、10のまとまりと端数にわけて数を数える。
	5	(知及技)加法が用いられる合併や増加等の場合について理解し、1位数と2位数の和が20までの加法の計算ができる。【小3段階A⑫⑬⑭】 (思判表力)「あわせて」や「みんなで」等の文言から加法が用いられる場面を式に表すことができる。【小3段階A⑫】 (学・人)進んで学習に参加し、具体物の和を求めることができる。【中1段階】	(知・技)20までの数の範囲で具体物を用いて加法の計算をしようとしている。 (思・判・表)「あわせて」や「みんなで」等の文言に気づき、加法が用いられる場面を式に表そうとしている。 (主学)進んで学習に参加し、具体物の和を求めようとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「数と計算」 ・加法の意味 ・加法の式 ・加法の計算	・おはじき・磁石等を用いて和を求める。 ・「あわせて」や「みんなで」等の言葉の意味を具体物を用いて確認し、式で表して答えを求める。 ・1位数同士の加法の計算をする。 ・1位数と2位数の和が20までの加法の計算をする。
	5	(知及技)減法が用いられる求残や減少等の場合について理解し、20までの数の範囲で減法の計算ができる。【小3段階A⑮⑯⑰】 (思判表力)「残りはいくつ?」「違いはいくつ?」等の文言から減法が用いられる場面を式に表すことができる。【小3段階A⑮】 (学・人)進んで学習に参加し、具体物の差を求めることができる。【中1段階】	(知・技)減法の意味(求残・求差)を理解し、1位数同士の減法の計算をしている。 (思・判・表)日常生活の中から加法と減法の必要な場面を見つけ、言葉や磁石、絵カード等を使って式に表している。 (主学)進んで学習に参加し、具体物の差を求めようとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「数と計算」 ・減法の意味 ・減法の式 ・減法の計算	・おはじき・磁石等を用いて差を求める。 ・「残りはいくつ?」「違いはいくつ?」等の言葉の意味を具体物を用いて確認し、式で表して答えを求める。 ・1位数同士の減法の計算をする。 ・20までの数の範囲で減法の計算をする。
	5	(知及技)長針と短針が示す時間を理解し、時計の表示から時刻を読み取ることができる。【小3段階C⑱⑲】 (思判表力)一日の流れを時刻をもとに順に並べ、時計が示す時刻と生活の流れを結び付けることができる。【小3段階C⑱】 (学・人)時間と時刻の学習に進んで取り組み、日常の場面に関連付けて時刻や時間を読むことができる。【中1段階】	(知・技)長針と短針の示す時間を理解し、時計の表示から時刻を読み取ることができる。時と分の関係(もうちょっとで/もう〇時)の表現をしたり、職員の時と分に関する言葉かけを理解することができる。 (思・判・表)1日の時間の流れに沿って、活動イラストを順に貼り付けている。 (主学)時刻に関心を向け、日常生活に関連して対応しようとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「測定」 ・時刻や時間	・時間の単位(時、分)について知る。 ・長針と短針の示す時間を理解し、時計の表示から時刻を読み取ったり、時刻の表示されたカードから選んだりする。 ・1日の時間の流れに沿って、活動イラストを順に貼り付ける。 ・自分の生活と時刻を関連付け、それぞれの生活の時刻を時計の絵カード等から選ぶ。
2 学期	18	(知及技)ものの形に着目し、身の回りにもものの特徴を捉えることができる。また、前後・左右・上下等方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表すことができる。【小3段階B⑳㉑㉒】 (思判表力)身の回りにもものから、いろいろな形を見つけたり、具体物を用いて形を作ったり分解したりする。【小3段階B⑳】 (学・人)身の回りにももの形を図形として捉え、生活や学習に活用しようすることができる。【中1段階】	(知・技)丸、三角、四角がそれぞれどのような形であるかを理解し、弁別している。また、方向・位置に関する言葉「前後・左右・上下」を聞いて、体を動かしたり具体物进行操作したりしている。 (思・判・表)色板・棒・積み木を組み合わせ、三角形・四角形、家やロケット等を作っている。 (主学)身の回りにもものの中から図形を見つけ、生活や学習に活用しようとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「図形」 ・丸、三角、四角 ・位置関係	・丸、三角、四角の特徴を知り、形の弁別をする。 ・もの形に着目し、身の回りにもものの特徴をとらえ、形をわける。 ・丸、三角、四角の形を使って、具体物をくつる。 ・「方向・位置」に関する言葉「前後・左右・上下」を聞いて、体を動かしたり具体物进行操作する。

	8	(知及技) 硬貨の種類や金銭の扱い方に関心を持つことができる。【生活小3段階ク(イ)】 (思判表力) 簡単な金銭の扱いができる。【生活小3段階ク(ア)】 (学・人) 金銭に関心に向け、日常生活に関連して対応することができる。【中1段階】	(知・技) 硬貨の種類や金銭の扱い方に関心を持つようとしている。 (思・判・表) 教師と一緒に簡単な金銭の扱いをしようとしている。 (主学) 金銭に関心に向け、日常生活に関連して対応しようとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「金銭」 ・お金の種類を知ろう。 ・お金の支払いを体験してみよう。	・硬貨の種類やそれぞれの金額を知る。 ・お金の数え方や表し方を知る。 ・教師が示した硬貨を、複数の硬貨から選ぶ ・教師が示した金額を同じ硬貨で数えてだす。 ・2種類以上の硬貨の混じった金額がわかる。 ・値段がちょうどのお金を出す。 ・模擬買い物学習をする。 ・模擬買い物を通して、自分の好きな商品を選び、その値段に合わせた硬貨を選び、支払う。
	10	(知及技) ものともとの対応やものの個数について、簡単な絵や図に表して整理したり、それらを読んだり、比較したりすることができる。【小3段階Dア④⑤】 (思判表力) 個数の把握や比較のために簡単な絵や図、記号に置き換えて簡潔に表現することができる。【小3段階Dア④】 (学・人) データの活用に関心をもち、生活や学習に活用することができる。【中1段階】	(知・技) 「A数と計算」に関連させ、得点を数え、得点のシールや磁石を使って一覧表で表している。一覧表をみて、友達の作成した表と比べ、「同じ」や「違い」「多い」「少ない」に気付いている。 (思・判・表) 一覧表をみて、順位をつけたり提示された順番に並び替えたりしている。簡単な絵や図、記号に置き換えて簡潔に表現している。 (主学) データの活用に関心をもち、興味を持って学習に取り組んでいる。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「データの活用」 ・事象の置き換え ・表やグラフ	・ものともとの対応や物の個数について、簡単な絵や図に表して整理する。 ・ゲームをして、「数と計算」に関連させ、得点を数え、得点のシールや磁石を使って一覧表で表す。 ・一覧表をみて、友達の作成した表と比べ、「同じ」や「違い」「多い」「少ない」に気付く、順位をつけたり提示された順番に並び替える。
3 学期	8	(知及技) 長さ、広さ、重さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較することができる。【小3段階Cア④⑤】 (思判表力) 身の回りのもの長さ・広さ、重さ、かさについて、その単位に着目し大きさを比較したり、表現したりする。【小3段階C測定】 (学・人) 測定に関心をもち、生活や学習に活用することができる。【中1段階】	(知・技) 長さについて、比較物と端を揃えてまっすぐに並べている。広さについて、比較物と2辺を揃えて並べている。重さについて、天秤が水平かを確認してから、比べている。かさについて、同じ大きさの空のカップを使って比べている。 (思・判・表) 長さ・かさについて、色板等を使い2つの比較物の「〇個分」から、長い方(短い方)・広い方(狭い方)を選択している。かさについて、カップ「〇個分」と表現している (主学) 測定に関心をもち、興味を持って学習に取り組んでいる。 【評価資料】 授業プリント・活動の様子	「C測定」 ・長さ ・広さ ・重さ ・かさ	・長さや高さなどの量の大きさを知る。 ・2つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べ、「長い・短い、高い・低い」を判断する。 ・「広い・狭い」の用語を知る。 ・2つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べ「広い・狭い」を判断する。 ・「重い・軽い」の用語を知る。 ・天秤を用いて2つの量を比べ、「重い・軽い」を判断する。 ・「多い・少ない」の用語を知る。 ・2つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べ「多い・少ない」を判断する。
留意点 引継ぎ等	生徒の実態や学習到達度、学習状況に応じて段階を調整する。また、単元等の順番を入れ替えて学習する場合もある。				

令和6年度 中学部 1～3年 (Ⅱ課程 B①) 数学科 年間指導計画

単位数 / 配当時数	児童生徒		担当者	教科書/副教材	
1/35	1～3学年 5名				
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技)身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりして、上下や前後、形の違い、量の大きさに気付くとともに、数量に関心をもって関わることについての技能を身につけることができる。(小1段階) (思判表力)身の回りのものの有無や数的要素、ものの形、大きさや長さなどの量の違いに注目し、数量や図形に関心をもって関わり、形の違いを捉えたり、量の大きさにより区別したりすることができる。(小1段階) (学・人)数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとすることができる。(小1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	5	(知・技)身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりすることができる。【小1段階Aア㉔㉕】 (思判表力)身の回りのものとの関連付けに注意を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり、表現したりすることができる。【小1段階Aイ㉖㉗】 (学・人)対象物に興味関心を示し、学習に取り組もうとすることができる。【小1段階】	(知・技)身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりしている。 (思・判・表)色や形に着目し、玩具を組み合わせている。 (主学)教師の言葉かけを聞いて、対象物に注意を向け、自ら取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子	「数量の基礎」 ・さがしてみよう ・おなじくばろう ・あわせてみよう	・具体物を指さしたり、つかもうとしたり、目で追う。 ・目の前で隠されたものを探す。 注視することによって特定の物を取り出す。 ・ものや人の名称を聞き、そのものを見る、指を差す、触れる、持ち上げる。 ・お皿の上に同じ形のお皿を重ねる。トレイにお椀やお箸、果物、牛乳を一つずつ置いていく等 ・食べ物や乗り物、動物等の分割した絵カードを組み合わせる。似ている物同士絵カードを組み合わせる。
	8	(知・技)ものの有無に気付き、3までの範囲で具体物をとったり対応させたりすることができる。また、5までの範囲で数唱することができる。【小1段階Bア㉘㉙】 (思判表力)数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。【小1段階Bア㉚】 (学・人)対象物に興味関心を示し、学習に取り組もうとすることができる。【小1段階】	(知・技)3までの範囲で具体物に対応させて操作している。 (思・判・表)教師と一緒に数えながら、3つの具体物を取ったり、置いたりしている。 (主学)教師と一緒に具体物を操作する楽しさを味わい、関心をもって学習に取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子	「数と計算」 ・あるかな？ ・かぞえよう	・ものの「ある」「ない」に気付く。目の前の皿の中の物を減らしていき、最後になくなったことに気付く。 ・3の個数で、指さし等しながら、数詞とものを対応させて個数を正しく数える。 ・3までの範囲で指示された数のものを取る。 ・1～3の範囲で、数える対象や置き方が変わっても、数が変わらないことがわかる。 ・5までの範囲で数を唱える。
2 学期	7	(知及技)形が同じものを選んだり、似ている二つのものを結び付けたりすることができる。【小1段階Cア㉜㉝㉞㉟】 (思判表力)ものの有無やものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心をもつことができる。【小1段階Cア㉟㊱】 (学・人)身の回りにあるものの要素に興味関心を向け、学習に取り組もうとすることができる。【小1段階】	(知・技)具体物に注目して指を指したりつかもうとしたり、目で追ったりしている。形が同じものを選んでいる。 (思・判・表)身の回りにあるものを色や形でわけようとしている。身の回りの物を○△□にわけようとしている。 (主学)進んで学習に取り組む、身の回りのものにあるものを探したり分類しようとしている。 【評価資料】 活動の様子	「図形」 ・みつけよう ・おなじかたち ・なかまわけしよう ・身の回りにもあるものを分けてみよう	・玩具の中から興味のある物を見たり、指さしたり、つかもうとする。 ・「似ている形」の物や「同じ形」の物「違う形」の物を集める。 ・2種類の形の物を形に着目して分ける。 ・見本の写真やイラストを見て、同じ物を選ぶ。 ・同色の○△□を分類する。 ・同色で様々な大きさの○△□を分類する。 ・様々な色、大きさの○△□を分類する。 ・身の回りにもあるものを○△□に分類する。 ・集合体の中にある異なる形を見つける。
	6	(知及技)硬貨の種類や金銭の扱いに関心を持つことができる。【生小1段階イ】 (思判表力)教師と一緒に簡単な金銭の扱いができる。【生小1段階ア】 (学・人)金銭に興味関心を示し、学習に取り組もうとすることができる。【小1段階】	(知・技)硬貨の種類や金銭の扱いに関心を持つようとしている。 (思・判・表)教師と一緒に簡単な金銭の扱いをしようとしている。 (主学)金銭に興味関心を示し、関心をもって学習や日常生活の金銭の扱いに取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子	「金銭」 ・お金の種類を知ろう。 ・お金の支払いを体験してみよう。	・金銭を大切に扱うことを知る ・硬貨の種類やそれぞれの金額を知る。 ・教師が示した硬貨を、複数の硬貨から選ぶ。 ・模擬買い物を通して、自分の好きな商品を選び、その値段に合わせた硬貨を選び、支払う。
3 学期	9	(知及技)大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別することができる。【小1段階Dア㊲㊳】 (思判表力)大小や多少等で区別することに関心を持ち、量の大きさを表す用語に注目して表現することができる。【小1段階Dア㊴】 (学・人)大きさや長さや量に興味関心を示し、学習に取り組もうとすることができる。【小1段階】	(知・技)提示された2つのものを比較して、指示された方を選ぶことができる。 (思・判・表)2つの具体物を比較して、言葉や指さし、身振りで大小・長短を表現しようとしている。言葉や指さし、身振りで量の多少を表現しようとしている。 (主学)大小、長短、多少の違いに関心を持ち、学習に取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子	【測定】 ・大きい、小さいどーれだ ・ながいのどーれだ	・遊びや体験的な活動を通して、大きさや長さや量の違いに気付く。 ・食べ物や飲み物を教材にして「ある・ない」「多い・少ない」の用語を言葉や身振りで表現する。 ・「大きい・小さい」を言葉や指さし、身振りで表現する。 ・「長い・短い」を言葉や指さし、身振りで表現する。 ・「多い・少ない」を言葉や指さし、身振りで表現する。 ・絵本や紙芝居を見て、測定について感じる。 「(紙芝居)大きく大きく大きくなあれ」 「(絵本)くらべてみよう たかさくらべ」 「(絵本)くらべっこしましょう！」 等
留意点 引継ぎ等	生徒の実態や学習到達度、学習状況に応じて、単元等の順番を入れ替えて学習する場合もある。				

令和6年度 中学部 1～3年 (Ⅱ課程 B②) 数学科 年間指導計画

単位数 / 配当時数	児童生徒		担当者	教科書/副教材	
1/35	1～3学年 5名				
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技)身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりして、上下や前後、形の違い、量の大きさに気付くとともに、数量に関心をもって関わることについての技能を身につけることができる。(小1段階) (思判表力)身の回りのものの有無や数的要素、ものの形、大きさや長さなどの量の違いに注目し、数量や図形に関心をもって関わるとともに、形の違いを捉えたり、量の大きさにより区別したりすることができる。(小1段階) (学・人)数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとすることができる。(小1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	5	(知・技)身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりすることができる。【小1段階Aア㉔㉕】 (思判表力)身の回りのものとの関連付けに注意を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり、表現したりすることができる。【小1段階Aイ㉖㉗】 (学・人)対象物に興味関心を示し、学習に取り組もうとすることができる。【小1段階】	(知・技)身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりしている。 (思・判・表)色や形に着目し、玩具を組み合わせている。 (主学)教師の言葉かけを聞いて、対象物に注意を向け、自ら取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子	「数量の基礎」 ・さがしてみよう ・おなじくばろう ・あわせてみよう	・具体物を指さしたり、つかもうとしたり、目で追う。 ・目の前で隠されたものを探す。 注視することによって特定の物を取り出す。 ・ものや人の名称を聞き、そのものを見る、指を差す、触れる、持ち上げる。 ・お皿の上に同じ形のお皿を重ねる。トレイにお椀やお箸、果物、牛乳を一つずつ置いていく等 ・食べ物や乗り物、動物等の分割した絵カードを組み合わせる。似ている物同士の絵カードを組み合わせる。
	8	(知・技)ものの有無に気付き、3までの範囲で具体物をとったり対応させたりすることができる。また、5までの範囲で数唱することができる。【小1段階Bア㉘㉙㉚】 (思判表力)数詞ものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。【小1段階Bア㉛】 (学・人)対象物に興味関心を示し、学習に取り組もうとすることができる。【小1段階】	(知・技)3までの範囲で具体物に対応させて操作している。 (思・判・表)教師と一緒に数えながら、3つの具体物を取ったり、置いたりしている。 (主学)教師と一緒に具体物を操作する楽しさを味わい、関心をもって学習に取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子	「数と計算」 ・あるかな？ ・かぞえよう	・ものの「ある」「ない」に気付く。目の前の皿の中の物を減らしていき、最後になくなったことに気付く。 ・3の個数で、指さし等しながら、数詞ものを対応させて個数を正しく数える。 ・3までの範囲で指示された数のものを取る。 ・1～3の範囲で、数える対象や置き方が変わっても、数が変わらないことがわかる。 ・5までの範囲で数を唱える。
2 学期	7	(知及技)形が同じものを選んだり、似ている二つのものを結び付けたりすることができる。【小1段階Cア㉜㉝㉞】 (思判表力)ものの有無やものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心をもつことができる。【小1段階Cア㉟】 (学・人)身の回りにあるものの要素に興味関心を向け、学習に取り組もうとすることができる。【小1段階】	(知・技)具体物に注目して指を指したりつかもうとしたり、目で追ったりしている。形が同じものを選んでいる。 (思・判・表)身の回りにあるものを色や形でわけようとしている。身の回りの物を○△□にわけようとしている。 (主学)進んで学習に取り組む、身の回りのものにあるものを探したり分類しようとしている。 【評価資料】 活動の様子	「図形」 ・みつけよう ・おなじかたち ・なかまわけしよう ・身の回りにもあるものを分けてみよう	・玩具の中から興味のある物を見たり、指さしたり、つかもうとする。 ・「似ている形」の物や「同じ形」の物「違う形」の物を集める。 ・2種類の形の物を形に着目して分ける。 ・見本の写真やイラストを見て、同じ物を選ぶ。 ・同色の○△□を分類する。 ・同色で様々な大きさの○△□を分類する。 ・様々な色、大きさの○△□を分類する。 ・身の回りにもあるものを○△□に分類する。 ・集合体の中にある異なる形を見つける。
	6	(知及技)硬貨の種類や金銭の扱いに関心を持つことができる。【生小1段階イ】 (思判表力)教師と一緒に簡単な金銭の扱いができる。【生小1段階ア】 (学・人)金銭に興味関心を示し、学習に取り組もうとすることができる。【小1段階】	(知・技)硬貨の種類や金銭の扱いに関心を持つようとしている。 (思・判・表)教師と一緒に簡単な金銭の扱いをしようとしている。 (主学)金銭に興味関心を示し、関心をもって学習や日常生活の金銭の扱いに取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子	「金銭」 ・お金の種類を知ろう。 ・お金の支払いを体験してみよう。	・金銭を大切に扱うことを知る ・硬貨の種類やそれぞれの金額を知る。 ・教師が示した硬貨を、複数の硬貨から選ぶ。 ・模擬買い物を通して、自分の好きな商品を選び、その値段に合わせた硬貨を選び、支払う。
3 学期	9	(知及技)大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別することができる。【小1段階Dア㊱㊲】 (思判表力)大小や多少等で区別することに関心をもち、量の大きさを表す用語に注目して表現することができる。【小1段階Dア㊳】 (学・人)大きさや長さや量に興味関心を示し、学習に取り組もうとすることができる。【小1段階】	(知・技)提示された2つのものを比較して、指示された方を選ぶことができる。 (思・判・表)2つの具体物を比較して、言葉や指さし、身振りで大小・長短を表現しようとしている。言葉や指さし、身振りで量の多少を表現しようとしている。 (主学)大小、長短、多少の違いに関心をもち、学習に取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子	【測定】 ・大きい、小さいどーれだ ・ながいのどーれだ	・遊びや体験的な活動を通して、大きさや長さや量の違いに気付く。 ・食べ物や飲み物を教材にして「ある・ない」「多い・少ない」の用語を言葉や身振りで表現する。 ・「大きい・小さい」を言葉や指さし、身振りで表現する。 ・「長い・短い」を言葉や指さし、身振りで表現する。 ・「多い・少ない」を言葉や指さし、身振りで表現する。 ・絵本や紙芝居を見て、測定について感じる。 「(紙芝居)大きく大きく大きくなあれ」 「(絵本)くらべてみよう たかさくらべ」 「(絵本)くらべっこしましょう！」 等
留意点 引継ぎ等	生徒の実態や学習到達度、学習状況に応じて、単元等の順番を入れ替えて学習する場合もある。				